



青い空、白い雲、風に揺れる
コスモス。
心を癒すこの優しい秋の風情
が大好きである。
コスモスに
おじき返せば
風笑う
八女川柳会 安達 昇



今月の山柳

コスモスも
揺れて
心も
秋の色

今月の色



赤あか
色いろ

視覚デザイン研究所
「和の色のものがたり」より



「たすけあい」の証明
赤い羽根

日本最古の色名の一つ。明(アケ、アカ)が語源とされています。

赤い羽根

10月の幕開け、赤い羽根募金が始まる。初日の10月1日、アナウンサーやニュースキャスターが赤い羽根を胸に付けて出演することが多い。
東京に住んでいる頃は駅まで行く途中5ヶ所位で「お願いします」の連呼に会っていた。付けていないと妙に響いてくる。
小さい頃一度だけ募金活動をした記憶がある。大きな募金箱を差し出された大人たちは通行税だと思っ協力していたのだろうか。

八女茶で健康

第15回

平成28年度全国茶品評会玉露の部で八女市星野村の宮原義昭さんが日本一獲得!

この品評会は、国の農林水産祭参加行事として、全国茶生産団体連合会が主催したもので、8月に三重県鈴鹿市で開催されました。審査茶種は、煎茶10k、煎茶4k、深蒸し煎茶、玉露、かぶせ茶、てん茶(抹茶にする前のお茶)、蒸し製玉緑茶、釜炒り茶の8茶種部門があり、それぞれの部門の1等1席には農林水産大臣賞が授与されます。



宮原義昭・幸子(ゆきこ)さんご夫婦

私は、審査委員20名の一人として審査をさせて頂きましたので概要のご紹介をします。

福岡県からは、煎茶2部門、玉露、かぶせ茶、てん茶の5部門に出品し、それぞれ多くのお茶が入賞したことにより、八女茶の名声を大いに高めることが出来ました。特に玉露部門では、1等1席の日本一に宮原義昭さん(71歳)が輝かれました。2位は京都の宇治茶でこれもすばらしい玉露でした。外観(形状や色沢)、香気、水色(茶碗についだときの茶の色)まで宇治茶と満点同点でした。しかし、最後の味の審査でも宮原さんの玉露が満点と評価され、宇治茶に1点差で決着しました。まさに日本一にふさわしい高レベルの審査でした。宮原さんは、約30年もの間、毎年欠かさず茶品評会玉露の部に挑戦されており、平成16年、平成26年に次いで3度目の日本一という快挙達成です。

玉露づくりでは、特に玉露園づくり、被覆の開始時期や摘採時期に留意されたそうです。受賞された茶園は自宅のすぐ前にあり、毎日何度も眺められるそうです。30年間の長きにわたる努力にただ脱帽し尊敬申し上げます。

福岡県茶生産団体連合会事務局長 仁田原 寿一

長い事水墨画を書いていますがなかなか上達しません。でも先生が優しく指導していただきますので教室に行くのが楽しみです。又教室の皆さんが頑張られますので私も続けて行きたいと思っています。



広川町新代
山下 マスア

健康よもやま話 ⑳



姫野病院：松浦 緑郎
(健康管理士一般指導員)

胆石症

人体のなかでも最大の臓器と言われる肝臓には、左葉と右葉という2つの区域があり、右葉裏側には細長い切れ込みがあります。ここに付着している胆嚢は、長さ8cm、最大幅3cmの西洋梨を引き伸ばしたような細長い袋状の器官で、容量はほぼ50ccです。この胆嚢には肝臓で作られた胆汁が貯まり、必要に応じて十二指腸へ排出され、脂肪の消化・吸収を助ける働きをしています。



だが、ときにこの胆汁が濃縮されてしまい、固まって石ができ“胆石”になることがあります。胆石といえば激しい痛みの胆石発作が有名ですが、すべての患者さんに必ずこの激痛発作が起こるわけではありません。胆嚢結石の場合は、その70～80%の人は無症状(サイレントストーン)です。

では、これがなぜ痛みを引き起こすのか・・・?

そのタイミングは食後です。食べたものが胃を経て十二指腸に達したとき、食べたものに脂肪分があると胆嚢が収縮し、胆汁が十二指腸に流れ出します。その際、胆嚢にあった胆石が胆汁の流れに乗って動き、胆嚢の入り口などに詰ってしまると、胆嚢の内圧が高まり激痛が起こるのです。

胆石の痛みは、みぞおち・上腹部を中心に、背中、右肩辺りにも刺すような痛みが起こるのが特徴で、吐き気や嘔吐、ふるえを伴う場合もあります。発作は数十分から一時間程度で自然に治まることがほとんどですが、それで胆石症が治ったわけではありません。痛みが治まるのは、詰っていた胆石がポロリと外れるためです。いつまた胆石が詰って発作が起こるかわからないので、胆石を胆嚢ごと取り除く手術が行われる場合があります。

患者さんのなかには、「お金が貯まらないで、どうして石が貯まるのか」と嘆く方もおられるようですが、胆石ができるのは体質的な要因が大きいようです。いずれにせよ、身内に胆石を持つ人が多い人は食生活を見直し、適度な運動を行うなど、胆石ができにくい環境づくりに気を配ることが必要です。

矢部川源流・杉の里の四季 ⑥〇

ジンジソウ(人字草)[ユイノシタ科]

ジンジソウは釈迦岳登山道の八つ滝より上の湿った岩場の斜面で見ることができる。多年草で日本固有種。花期は9～11月。名前の由来は、花の形が人の字に似ることからきている。別名モミジバダイモンジソウともいう。

黒木町 松尾 重根



特別展 古代ギリシャ

歴史を超えた旅

3600年前の色彩が目の前に。名品「漁夫のフレスコ画」日本初公開

会期 10月14日～12月11日

会場 長崎県美術館 長崎市出島町2-1 ☎095-833-2110

観覧料 一般 1400円 高・大・70歳以上 1000円 小・中生 500円

古代ギリシャでは、時代や地域によりさまざまな美術が開花しました。その中心は一貫して神々と人間の姿の物語でした。大理石を削って作った小さなキュクラデス偶像、幾何学様式の壺絵からマケドニアの美しい金製品、等身大のヘレニズム神像まで、歴史の変遷とともに見事なまでの多様性を目にする事ができます。ギリシャ国内の国立博物館群から厳選された300件を超える古代ギリシャ時代の貴重な作品を展示する日本でかつてない規模での試みです。



読者プレゼント

ペラ5組(10名)の方へ。希望の方ははがきに住所、氏名、「古代ギリシャ」と明記の上(働)東兄弟までお送り下さい。10月7日締め切り、希望者多数の場合は抽選によります。チケット発送をもって発表とします。

「漁夫のフレスコ画」前17世紀 テラ先史博物館蔵 ©The Hellenic Ministry of Culture and Sports-Archaeological Receipts Fund